

松江市産業振興促進計画

令和2年2月21日作成
島根県松江市

1. 計画策定の趣旨

(1) 松江市と半島振興対策実施地域の状況

① 松江市について

・松江市は、島根県の東部、山陰地方のほぼ中央に位置し、北部は大山隠岐国立公園にも指定されている島根半島東部の景観美しいリアス式海岸や枕木山をはじめとする島根半島の山々、中央部は宍道湖と中海を結ぶ大橋川周辺に沖積平野が広がり、南部は中国山地に至る緑豊かな山々を有する、水と緑に囲まれた自然豊かな地域です。

・平成17年4月及び平成23年8月の1市7町1村による合併により、面積572.99㎏、人口20万人を抱える都市となりました。平成24年4月には特例市となり、住みやすさの向上と行政機能のレベルアップを図るため、平成30年4月1日から中核市に移行しました。

② 半島振興対策実施地域について

・この本市のうち、半島振興対策実施地域（以下、「半島振興地域」という。）として旧鹿島町、旧島根町、旧美保関町及び旧八束町地域が指定されており、その面積は地域の約3割、人口は約1割を占めています。

・平成29年12月22日に「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」として日本ジオパークへの加盟が認定されました。半島振興地域の魅力的な地形、地質、自然遺産と伝統、歴史、文化が今以上に国内外に発信され、観光活動や教育活動が活発になり、持続可能な経済発展・地域づくりへの一助となることが期待されます。

・半島振興地域では昭和30年代より人口の減少が続いており、平成27年の人口は19,112人で、平成22年の21,245人と比較すると10%減少しています。また、14歳以下の年少人口は、平成22年の2,140人から平成27年には1,859人で13.1%減少しているのに対し、65歳以上の高齢者人口は、平成22年の7,061人から平成27年には7,204人で2.0%増加しており、少子高齢化が進行しています。

・就業者数は、平成27年は9,470人で、平成22年の10,630人と比べ、1,160人、10.9%減になっています。

・日本海に面し大山隠岐国立公園や美保関灯台、海洋レジャー等の観光資源にも恵まれる鹿島町、島根町、美保関町においては、古くからの漁業集落が多く、定置網漁を主体に、引き網漁や一本釣、ワカメ等の養殖業も営んでおり、また、中海に浮かぶ八束町においては、牡丹や雲州人参に代表される農業への就業者を多く抱えていました。しかし、現在では厳しい経済状況の影響による需要・価格の低下や資源の減少、ニー

ズの多様化や高齢化による担い手不足等、これらの地域を取り巻く産業は極めて厳しい状況となっています。

- ・このような半島振興地域の現状を把握し、これらを踏まえた課題の解決に向けて取り組むことにより、賑わいや活力をもたらす産業の振興、魅力ある雇用の場の創出と地域活性化を実現していく必要があります。

- ・このため、自立的発展の促進、地域経済の好循環を図るため、平成 27 年施行の改正半島振興法（昭和 60 年法律第 63 号）第 9 条の 2 第 1 項の規定に基づき、平成 27 年に産業振興促進計画を策定したところ、同計画の期限到来に伴い、新たに計画を作成するものです。

(2) 旧計画の評価

① 旧計画の目標と達成状況（令和元年 10 月末現在）

| 業種 | 新規設備投資件数 | | | 新規雇用者数 | | |
|-----------|-----------|---------|------|-----------|---------|-------|
| | 旧計画における目標 | 目標の達成状況 | | 旧計画における目標 | 目標の達成状況 | |
| 製 造 業 | 35 件 | 36 件 | +1 件 | 10 人 | 25 人 | +15 人 |
| 農林水産物等販売業 | 11 件 | 7 件 | ▲4 件 | 3 人 | 10 人 | +7 人 |
| 旅 館 業 | 1 件 | 8 件 | +7 件 | 0 人 | 10 人 | +10 人 |
| 情報サービス業等 | 23 件 | 23 件 | +0 件 | 7 人 | 40 人 | +33 人 |
| 合 計 | 70 件 | 74 件 | +4 件 | 20 人 | 85 人 | +65 人 |

達成状況数値：まつえ北商工会調べ

② 成果及び改善すべき課題

新規設備投資については、一定の実績があがっているものの、本計画による租税特別措置を受けた事業者は、周知不足等の要因で少数の申請に留まりました。また、小額の設備投資（本計画に適合しない案件）については、小規模事業者持続化補助金等を活用した他、先端設備導入計画により設備投資を実施した製造業も多く見られました。

新規雇用者数においては、目標数値をクリアしているものの製造業・建設業等を中心に慢性的な人手不足の状況にありました。

③ 課題に対する更新後の計画における対応方針

まつえ産業支援センター等と連携し、まつえ北商工会への説明会や企業訪問といった事業者への直接的な制度周知を行うことにより、本計画に基づく税制優遇制度の利用を促進していきます。

2. 計画の対象とする地区

本計画の対象地区は、松江市鹿島町、島根町、美保関町及び八束町の区域とします。

3. 計画期間

本計画の計画期間は、令和 2 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までとします。

4. 対象地区の産業の振興の基本的方針

(1) 松江市の産業の現状

① 地域の特徴

(ア) インフラの整備状況

- 中国横断自動車道尾道松江線、地域高規格道路（松江第五大橋道路）の開通により高速ネットワークが形成されました。半島振興地域からの高速道路へのアクセスは良好になってきていますが、都市部と半島部をつなぐアクセス道路、半島循環道路の整備は十分とは言えません。
- 重要港湾の境港（鳥取県と共有）をはじめ、七類港等の 16 地方港湾は、海上物流や隠岐航路の拠点、漁船の基地として半島振興地域はもとより島根県東部における経済、生活を支えています。
- 半島振興地域に近接して出雲空港、米子空港があります。出雲空港は、令和元年 12 月時点で仙台、東京、静岡、名古屋、大阪、神戸、隠岐、福岡へ往復 18 便／日が就航しており、FDA の参入により航路が増えています。また、米子空港には香港便が就航しています。

(イ) 地域資源の現況

- 新鮮な海の幸は生鮮品としてだけでなく、特産品として有名な板ワカメ等加工品としても活用されています。
- 半島振興地域の海岸線の大部分は大山隠岐国立公園に指定されており、美しい海岸景観はもちろん、マリンレジャーを楽しむこともできます。出入りの多い複雑な海岸線に、断崖、洞門、洞窟等が続く優れた景観を呈しており、加賀潜戸、多古七ツ穴等の名所があります。潜戸は観光遊覧船が運航されています。
- 「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」が平成 29 年 12 月 22 日に日本ジオパークの認定を受け、平成 30 年 5 月 13 日に松江ビジターセンターを島根町加賀に開設しました。この施設は、ジオパークを丸ごと学び、楽しむ施設で、エリアやジオサイトの紹介をはじめ、岩石や化石等を展示しています。
- 牡丹の産地で有名な八束町は、中海に浮かぶ島という地理的な特徴を活かし、「花の島」というイメージが定着しています。1 年中牡丹を楽しめる施設も含め、多くの人が島を訪れており、(公社)日本観光協会主催の「花の観光地づくり大賞」を受賞しています。この他にも溶岩トンネルの竜溪洞等、多くの見所があります。
- また、八束町には、インド思想と仏教学の世界的権威である故中村元博士の業績の顕彰・研究の普及のため、平成 24 年度に中村元記念館が設立されました。平成 30 年度の来館者数は 7,238 人となっており、半島振興地域外からの交流人

口を生み出しています。

- 美保関灯台は、美保湾を隔てて大山、弓ヶ浜、また遠く隠岐の島を望むことができ、雄大な景観が眺望できます。また、美保神社に至る青石畳通りは、その当時の面影を残す古い町並みと石畳の道が落ち着いた雰囲気醸し出しています。
- 鹿島町には、講武堀部温泉（鹿島多久の湯）があり、ナトリウム塩化物・硫酸塩泉を泉質とし、神経痛、関節痛、動脈硬化症等に効果があります。半島振興地域内外の多くの方が利用しています。
- 島根町には、天空の岬マリンパーク多古鼻にキャビンやキャンプ場、小波や桂島に海水浴場やキャンプ場があり、夏場を中心に賑わいを見せています。
- 半島振興地域には古代出雲時代からの歴史的文化遺産が多くありますが、出雲大社との両参りで知られる「美保神社」で毎年行われる「青柴垣神事」「諸手船神事」は、国譲り神話に因んだもので、2隻の船が美保湾を巡る様子を一目見ようと多くの観光客が集まります。また鹿島町の「佐太神社」で行われる「佐陀神能」は、ユネスコの無形文化遺産に登録されています。

(ウ)地域の産業の特性

- 八束町の牡丹は全国一の生産量を誇り、また松江ブランドとして欧州や北米、台湾・ロシア等への輸出品にもなっています。また、同町域は江戸時代から続く雲州人蓼の産地でもあり、その品質は海外で高く評価されています。
- アワビの種苗生産及びマダイ・ヒラメの中間育成による、稚魚・稚貝を放流する取り組みを行い、関係機関と連携して「つくり育てる」栽培漁業の振興を図っています。
- 日本海側は、9つの定置網漁業が総漁獲量の約4割を占め、漁獲物は『殺菌冷海水』を使用することによって、鮮度保持と衛生管理を行っています。
- 鹿島町恵曇では底引網も在籍し、古くから加工業が営まれています。恵曇水産加工団地では、地場産業である水産加工品の製造や新たな商品開発も行っています。
- 島根町ではイワガキの養殖に取り組み、地域ブランドである『松江いわがき』として特産品の一つとなっています。また新たにアワビの試験養殖も取り組まれています。
- 中海に面する美保関町、八束町で獲れたウナギは、古くから『出雲ウナギ』として関西での評価が高く、また長年漁獲が途絶えたサルボウガイ（地域の呼び名：赤貝）の復活を目指し、『中海産養殖赤貝』として、試験養殖にも取り組んでいます。
- 陸、海、空の交通アクセスに優れた江島工業団地では、プラスチック製品製造

企業等が進出しています。

■半島振興地域は、素朴な漁村の風景と豊かな自然に囲まれた景勝地で、神社仏閣、レジャースポット等、多くの観光資源を有しています。

② 近年の対象地区の産業の動向

(ア)事業所数、従業員数の推移

| 産業分類※ | 平成 24 年 | | 平成 26 年 | | 平成 28 年 | |
|----------------------|-------------|----------------|-------------|----------------|-------------|----------------|
| | 事業所数 | 従業員数 | 事業所数 | 従業員数 | 事業所数 | 従業員数 |
| 製造業 (市全体の数値) | 75 (539) | 944 (8,449) | 74 (536) | 914 (7,512) | 67 (506) | 913 (7,692) |
| 飲食料品小売業 (市全体の数値) | — (590) | — (4,745) | 72 (541) | 239 (4,679) | 64 (545) | 231 (4,778) |
| 旅館業 (市全体の数値) | — (123) | — (2,452) | 37 (120) | 192 (2,479) | 34 (116) | 197 (2,480) |
| 情報サービス業等 (市全体の数値) | — (67) | — (1,199) | 2 (76) | 11 (1,282) | 2 (78) | 12 (1,774) |

※製造業は大分類、飲食料品小売業、旅館業及び情報サービス業等は中分類で把握

資料：経済センサス

(イ)企業立地の状況（H27.4.1～R1.9.30 現在）

平成 27 年度以降の市全体の状況として、立地件数は 32 件（うち新設 19 件）、雇用従業員計画数は 558 人となっています。特にソフト産業が同 19 件、同 368 人と多数を占めています。

そのうち、対象地域では、立地件数 1 件（製造業）、雇用従業員計画数 15 人となっています。

(ウ)既存の事業者の経営状況

令和元年 12 月に日本銀行松江支店が公表した山陰の企業短期経済観測調査（短観）では、業況について全産業の先行きは悪化する見通しとしています。

業種別にみると、製造業では、消費税率引き上げ後の消費者マインド悪化を懸念する食料品や、海外経済減速の影響拡大を懸念する電気機械等で悪化する見通しにあることから「悪い」超幅が拡大する見通しとなっています。

非製造業は、消費税率引き上げ後のマインド悪化を懸念する小売や宿泊・飲食サービス等で悪化する見通しにあり、「良い」超幅が縮小する見通しとしています。

(エ)製造業関係：製造品等出荷額等の推移（市全体の数値）

| 項目 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|---------|----------|----------|----------|
| 製造業事業所数 | 252 | 239 | 240 |

| | | | |
|--------------|---------|---------|---------|
| 従業員数（人） | 6,043 | 6,340 | 6,763 |
| 製造品出荷額等（百万円） | 115,973 | 126,901 | 136,095 |

資料：工業統計調査（従業員 4 人以上の事業所）

(オ) 農業・水産業関係

総農家数の推移

| 項目 | 平成 12 年 | 平成 17 年 | 平成 22 年 | 平成 27 年 |
|--------------------|----------------------|----------------------|----------------------|--------------------|
| 総農家数 (市全体の数値) | 1,239 戸 (6,483 戸) | 1,152 戸 (5,925 戸) | 1,046 戸 (5,279 戸) | 896 戸 (4,545 戸) |
| 経営耕地面積 (市全体の数値) | 666ha (4,342ha) | 468ha (3,310ha) | 379ha (2,850ha) | 304ha (2,352ha) |

資料：農林業センサス

漁業経営体数等の推移

| 項目 | 平成 15 年 | 平成 20 年 | 平成 25 年 |
|--------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 漁業経営体数 (市全体の数値) | 650 経営体 (724 経営体) | 621 経営体 (678 経営体) | 501 経営体 (548 経営体) |

資料：漁業センサス

漁獲量、漁獲金額等の推移

| 項目 | 平成 26 年 | 平成 27 年 | 平成 28 年 | 平成 29 年 | 平成 30 年 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 漁獲量（トン） | 5,263 | 5,408 | 5,018 | 5,314 | 4,635 |
| 漁獲金額（百万円） | 2,216 | 2,357 | 2,279 | 2,436 | 2,187 |

資料：島根県 TAC システム

(カ) 農林水産物等販売業関係：産直施設の開設状況

島根県農業協同組合くにびき地区本部が運営する「ファミリーマート講武」、大根島産直市有限責任事業組合が運営する「大根島産直市」で、主に地元で生産された野菜、加工品、また近隣の漁港で水揚げされた新鮮な魚介類、水産加工品等が広く販売されています。

(キ) 観光関連業関係：観光客総数、宿泊客等の推移（市全体の数値）

| 年度 | 観光客総数（千人） | うち宿泊客（千人） | うち日帰り客（千人） |
|---------|-----------|-----------|------------|
| 平成 26 年 | 9,602 | 2,218 | 7,384 |
| 平成 27 年 | 10,062 | 2,089 | 7,973 |
| 平成 28 年 | 10,262 | 2,098 | 8,164 |
| 平成 29 年 | 9,982 | 2,092 | 7,890 |
| 平成 30 年 | 9,737 | 2,029 | 7,708 |

資料：松江市

(2) 松江市の産業振興を図る上の課題

① 全事業共通の課題

地域特性を活かすことによって独自性を発揮し、売れる商品づくりを進めることが求められており、そのために必要となる設備投資や人材育成を促進するとともに、製品開発につながる農水商工連携・産学連携の強化、また都市部と半島部、対象地区間の人流・物流を活性化するためのアクセス道路の整備が必要となります。

② 各業種別の課題

(ア)製造業・情報サービス業等の課題

- 製造業・情報サービス業等とも下請け体質からの脱却が求められており、企業の技術力を結集し、地元素材を最大限活用することで、製品開発・高付加価値化を推進するとともに、国内外に広く販路を拡大していく必要があります。
- 小規模事業者が大半を占める状況の中で、個社では解決困難な自社製品開発や市場開拓等の課題に対応するため、地元素材を活用した新たな商品づくりにつながる異業種連携や地域間交流の促進が必要となります。
- 市内企業と学生等との交流を促進することで地元への就職につなげるとともに、立地環境の充実や優遇制度を活用した企業立地を促進することで、雇用の場を確保していく必要があります。

(イ)農業の課題

- 農業従事者の高齢化、担い手の不足、農業人口の減少が顕著で、それに伴い農山村地域のコミュニティが衰退する恐れがあります。
- 担い手不足により、耕作放棄地は増加傾向です。
- 中山間地域においては、耕作条件が不利であることから、担い手への農地集積や経営規模の拡大が進まない現状があります。
- 長期にわたる農産物の価格低迷に加え、昨今の資材高騰等、農業経営には厳しい状況が続き、産業が弱体傾向にあります。
- 既存の地域ブランド産品について、一部を除き生産量が減少傾向にあります。
- 畜産農家における後継者が不足しています。
- 有害鳥獣による農産物の被害は依然として高い数字となっており、被害防除対策の実施により営農意欲を高め、担い手の減少に歯止めをかける必要があります。

(ウ)水産業の課題

- 漁港・港湾・海岸施設の老朽化が進んでいることから、全施設の調査・点検を行い、危険度の高い施設から順次計画的に修繕を行う必要があります。
- 漁業就業者は、水産資源の減少や魚価の低迷等の影響により、担い手不足や高齢化が進んでいます。漁業生産を維持・発展させていくためには、市内外から多様な担い手を確保・育成することが急務となっています。
- 「島根県栽培漁業基本計画」に基づきマダイ、ヒラメ、アワビ等の種苗放流を実施してきました。今後は、対象種や数量等について事業内容の再検討を図り、

より効果の高い栽培漁業の実現を目指す必要があります。

(エ)観光の課題

- 様々な広域連携体制が構築されており、広域観光の推進を通じ、魅力ある資源をつなぐ交通手段の確保が求められています。
- 地域全体のおもてなしで豊富な資源を活かすとともに、圏域内での滞在時間を増やし、経済波及効果をより高めるため、旅行者のニーズに応じた観光コースを提案していく必要があります。
- 外国人観光客を増やすため、観光・宿泊施設の受入環境整備が必要です。

5. 産業の振興の対象とする事業が属する業種

本計画においては、半島振興地域における産業投資の促進を図るため、特に製造業、農林水産物等販売業、旅館業、情報サービス業等をその対象業種とします。

6. 事業の振興のために推進しようとする取組・関係団体等との役割分担

(1) 本市が実施する施策

① 共通項目

- 指定地域における租税特別措置の活用促進

| | | | |
|---------|----------------------------|---------------------|-------------------------|
| 対象業種 | 製造業、旅館業、農林水産物等販売業、情報サービス業等 | | |
| 対象設備 | 機械・装置、建物・附属設備、構築物 | | |
| 取得価額要件等 | 製造業・旅館業 | 資本金規模 | 取得価額 |
| | | 1,000万円以下 | 500万円以上 |
| | | 1,000万円超から5,000万円以下 | 1,000万円以上 |
| | 農林水産業等販売業・情報サービス業 | 5,000万円超 | 2,000万円以上(新增設による取得のみ) |
| | | 資本金規模 | 取得価額 |
| | | 5,000万円以下 | 500万円以上 |
| 償却率 | 5,000万円超 | | 500万円以上(新增設による取得のみ) |
| | 機械・装置：普通償却限度額の32% | | |
| | | | 建物・附属設備、構築物：普通償却限度額の48% |
| 償却期間 | 5年間 | | |

- 半島振興法に基づく不均一課税による優遇措置

指定地域内において、製造の事業等の用に供する設備等を新設または増設した場合、当該設備である家屋及び償却資産、並びに当該家屋の敷地である土地に対

して課する固定資産税の税率は、当該設備を新設し、若しくは増設した日の属する年の翌年の4月1日の属する年度から3年度分について、次の表の左欄に掲げる年度の区分に応じ、それぞれ当該右欄に定める率とします。

| 年 度 | 税 率 |
|------|-------|
| 初年度 | 0.14% |
| 第2年度 | 0.35% |
| 第3年度 | 0.7% |

※松江市税賦課徴収条例に定める固定資産税の通常の税率は0.014

② 各業種別に実施する施策

(ア)製造業、情報サービス業等

- 企業立地促進法に基づく固定資産税の課税免除、松江市企業立地奨励条例に基づく用地取得助成金、立地奨励金、雇用促進奨励金による優遇措置
- 企業立地支援補助金制度、情報サービス産業等立地促進補助金制度等による優遇措置
- 東京オリンピックの開催や働き方改革の一環として総務省を中心に進められる「テレワーク」や、休暇中に旅先等で仕事をする新しい働き方「ワーケーション（仕事（work）と休暇（vacation）を組み合わせた造語）」による、都会から地方への人の流れの構築や地域資源を活用した企業誘致の推進に向け、八束町のゲストハウス「ココリト大根島」、美保関町の「美保館」や改修された古民家等、テレワーク等対応可能な民間施設の紹介
- ものづくり企業の目指すべき姿と取り組む施策をまとめた「松江市ものづくりアクションプラン」に基づく、より具体的な産業振興策の展開
 - ・企業訪問をベースとした支援を行う「まつえ産業支援センター」の設置、運営
 - ・人材育成、市内企業の紹介、企業と学生の交流、設備導入等の企業力向上に資する支援策の実施
 - ・国内外への出展、松江製品のPR等の販路拡大に資する支援策の実施
 - ・まつえ発の製品開発、試作品開発への挑戦、企業グループによる研究等の製品開発に資する支援策の実施
 - ・ものづくり企業の情報発信（ビジネスマッチングサイトの開設）
- Ruby City MATSUE プロジェクト
 - ※「Ruby」は松江市在住の技術者が開発したプログラミング言語
 - ・Ruby エンジニアの交流拠点（オープンソースラボ）の設置
 - ・産学官連携による Ruby 人材育成
 - ・RubyWorldConference の開催
- 農水商工連携の促進、貿易の推進
- 食と観光の連携推進（特産品フェア）

■松江市中小企業・小規模企業振興基本条例に基づく支援策の実施

(イ)農業

- 農業担い手の育成支援（青年就農者、U I J ターン者、女性、定年退職者等多様な農業担い手の掘り起しと育成の支援）
- 法人化や集落営農組織化への支援
- 農地の貸し借りの促進支援
- 地域の売れる産品づくりの振興、松江大根島牡丹・雲州人蔘振興対策の支援
- 松江市農林水産祭の開催
- 肉用牛振興対策支援
- 市が管理する農道、水路等生産基盤となる農業施設の整備と適正な管理
- 耕作放棄地の有効活用
- 地産地消の推進
- 有害鳥獣駆除対策の実施
- 農山村地域の地域コミュニティの維持への支援

(ウ)水産業

- 市管理の漁港・港湾・海岸施設の機能診断を行い、維持管理計画を策定し、計画的な機能保全や長寿命化対策の実施
- 魚礁、磯焼け対策、有害生物駆除、放流等の漁場環境整備
- 定置網・養殖施設、漁業用設備等の整備に関する地域水産振興
- 特産品開発、付加価値向上、ブランドP R等の販路拡大支援
- 新規漁業者、経営多角化に対する担い手対策
- 中海の漁業振興に向け県、周辺自治体、漁業団体等との連携による支援
- 「つくり育てる漁業」を推進する資源管理型漁業の基となるアワビの種苗生産の実施
- マダイ、ヒラメ等の回遊性魚類とともに、定着性の高い根魚やアワビ等の貝類の放流を行う栽培漁業の推進

(エ)観光

- 広域連携による2次交通の確保及び、国内外への情報発信の強化
- 体験プログラムの充実やモデルコースの策定
- 外国語観光マップの作成
- 外国人向け観光素材を活用した商品造成の促進

(2) 既に実施されている島根県、関係機関等の施策

① 島根県

- 租税特別措置の活用促進
- 半島振興法に基づく地方税（県税）の不均一課税による優遇措置

- ・ 県ホームページにおける制度周知
 - 島根県企業立地促進条例に基づく企業立地促進助成金等による優遇措置
 - ものづくり・IT企業の経営、技術革新の支援
 - 新産業・新技術の創出
 - 売れる農林水産品・加工品づくり
 - 農業分野のパイロットプロジェクトによる農業所得の向上及び農山村地域の活性化
 - ・ 水田園芸の総合的な推進
 - ・ 消費者ニーズに即した有機農業の拡大
 - ・ 中核的農業者・地域けん引経営者の確保・育成
 - ・ 美味しまね認証制度を核としたGAP推進
 - 県産品の販路開拓・拡大の支援
 - 地域資源を活用した観光地づくりの推進
 - 特色ある技術・材料を活かした取り組みの推進
 - 産業人材の育成、雇用・就業の促進、就業環境の整備
 - 円滑な事業承継の推進
 - 沿岸漁業活性化プロジェクトによる漁業所得の向上及び漁村集落の活性化
 - ・ 漁法の複合化等による漁業経営の安定化
 - ・ 魚価の向上対策
 - ・ 水産物の消費拡大
 - ・ 藻類、貝類養殖の推進
 - ・ 担い手の育成、確保
- ② 松江商工会議所
- 経営改善・経営革新・創業・各種助成金活用等の支援
 - 販路拡大、貿易投資相談、融資手続き等の支援
 - 人材育成、労務・雇用、税務・経理の支援
- ③ まつえ北商工会、まつえ南商工会、東出雲町商工会
- 経営、創業、経営革新、金融、税務・経理、労務等の支援
 - 企業再生、事業承継等の支援
- ④ 島根県農業協同組合くにびき地区本部
- 地域農業を支える多様な担い手の育成と支援
 - 良質米生産の推進と結びつきを強化する販売対策の実施
 - 水田フル活用による農家所得向上と多様なニーズに対応した生産体制の強化
 - 園芸産地の育成・拡大と販売対策の強化
 - 優良雌牛保留対策等の継続的な事業活用による更新・増頭対策の実施
 - 産直振興による地産地消の推進

- 農業所得向上を目指した営農指導体制の強化
- 農畜産物の安全・安心への取組み
- ⑤ 漁業協同組合 JF しまね
 - 「しまね定置もん」
 - ・ 島根県沿岸の定置網で獲られた魚を漁獲直後から出荷まで「殺菌冷海水」を使い、鮮度保持と衛生管理を実施
 - 島根県で漁師になろう！
 - ・ 島根県漁業就業者確保育成センターの研修制度（漁業協同組合 JF しまね内）
 - 漁船のリース事業
 - ・ 一般社団法人しまね水産業構造改革サポート（漁業協同組合 JF しまね内）による、国、県の補助を受けた中古・新船のリース事業
 - 水産多面的機能発揮対策事業
 - ・ 松江地区海域保全協議会（漁業協同組合 JF しまね内）による漂着物海岸清掃
- ⑥ （一社）松江観光協会、その他観光関係団体
 - 古事記や出雲風土記等神話の舞台として、小泉八雲ゆかりの地としてのPR

（3）行政、関係機関等が連携して取り組む事項

| 取り組み事項 | 取り組みを行う者 |
|-----------------------------|---|
| 大根島ぼたん祭 | 市、島根県農業協同組合くにびき地区本部、生産者団体 |
| 松江市農林水産祭 | 市、島根県農業協同組合くにびき地区本部、生産者団体 |
| 経営所得安定対策等の推進 | 県、市、島根県農業協同組合くにびき地区本部等 |
| 日本海沿岸漁業（ヒラメ・マダイ稚魚放流）の推進 | 県、市、JFしまね、漁業者、水産振興協会 |
| 水産物（イワガキ、サルボウガイ、アサリ等）販売促進事業 | 県、市、JFしまね、漁業者 |
| 新規漁業者就業支援 | 県、市、JFしまね、中海漁協、ふるさと島根定住財団 |
| 中海アサリ資源再生事業（養殖の可能性検討） | 県、市、中海漁協、漁業者 |
| 中海サルボウガイの試験養殖（可能性検討） | 県、市、中海漁協、漁業者 |
| 中海魚介類が棲める水質改善対策 | 国、県、市、中海漁協、漁業者、島根大学等 |
| 山陰いいものマルシェ | 中海・宍道湖・大山圏域市長会、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会、JR西日本、日本貿易振興機構（JETRO）、山陰中央新報社 |

7. 計画の目標値（令和2年4月1日～令和7年3月31日）

（1）設備投資の活発化、雇用に関する目標値

| 業 種 | 新規設備投資件数 | 新規雇用者数 |
|-------------------|----------|--------|
| 製 造 業 | 10 件 | 20 人 |
| 農 林 水 産 物 等 販 売 業 | 5 件 | 10 人 |
| 旅 館 業 | 3 件 | 10 人 |
| 情 報 サ ー ビ ス 業 等 | 7 件 | 20 人 |
| 合 計 | 25 件 | 60 人 |

※設備投資件数については、概ね 500 万円以上の投資額とする。（小口投資については除外）

（2）事業者向け周知に関する目標

| | |
|----------------|---|
| 説明会の開催 | ・まつえ北商工会の定期総会時に税制の説明会を実施する（年 1 回） |
| Web 媒体等による情報発信 | ・市のウェブサイトにおいて半島税制に関する周知ページを掲載する ・ウェブサイト URL を掲載したチラシを事業者に配布（年 1 回） |
| 事業者への直接周知 | ・市の窓口（常備）、企業訪問（年 3 回以上）での税制に関するチラシ提供 ・償却資産（固定資産税）申告の手引きを送付し周知（年 1 回） |

8. 計画評価・検証の仕組み

本計画に記載する施策、設備投資の活発化、雇用に関する目標値等の進捗状況について、まつえ北商工会等と連携の上、毎年度把握します。PDCA サイクルに基づいた進行管理と効果検証をめざし、効果検証の結果については、次年度の施策等に反映させます。